

構造解析シミュレーションによる

安全なサインを提供開始

近年、数十年に一度といわれる大雨や大型台風、地震といった自然災害が頻発。看板設置における安全性の確保は、サイン業界にとって、非常に重要な懸案となってきている。

福岡に本社を構えるメタルサインの総合メーカー (株)オオサカネームは、これまで経験則に

任せる部分が大きかったサインの構造解析の取組を開始した。様々な構造の箱文字サインや袖看板等の設計を行う上で、各種実験に基づくデータを蓄積し、顧客が求める適正な安全率にて看板の大きさや設置シーンに応じた、安全なサインの提供を目指す。

あなたのサイン、安全率を知っていますか？

オオサカネームは
製作するサインの解析を実施し
数値の面からお客様に
安全なサインの提案を行います



データ解析でお客様にとって本当に安全な看板づくりをサポート

気象庁によると、地球温暖化に伴い、強い台風の発生が増加すると予測されています。当社では、日々「強い看板」の製造を追求していますが、その目標強度や安全率は不明確でした。

根拠のある「安全安心な看板」を目指し、当社が新たに開始したのが、CAE (Computer-Aided Engineering) を導入し、強度と安全率を明確にする取り組みです。

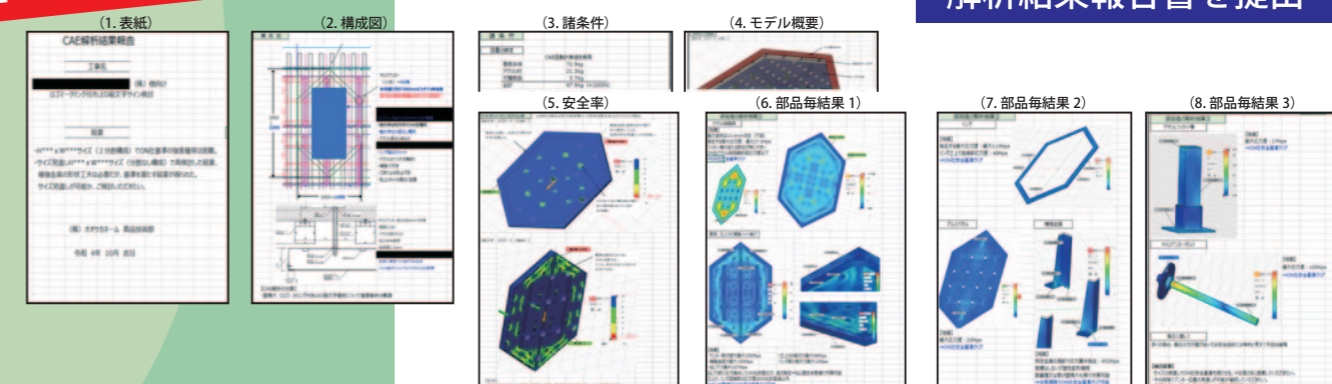
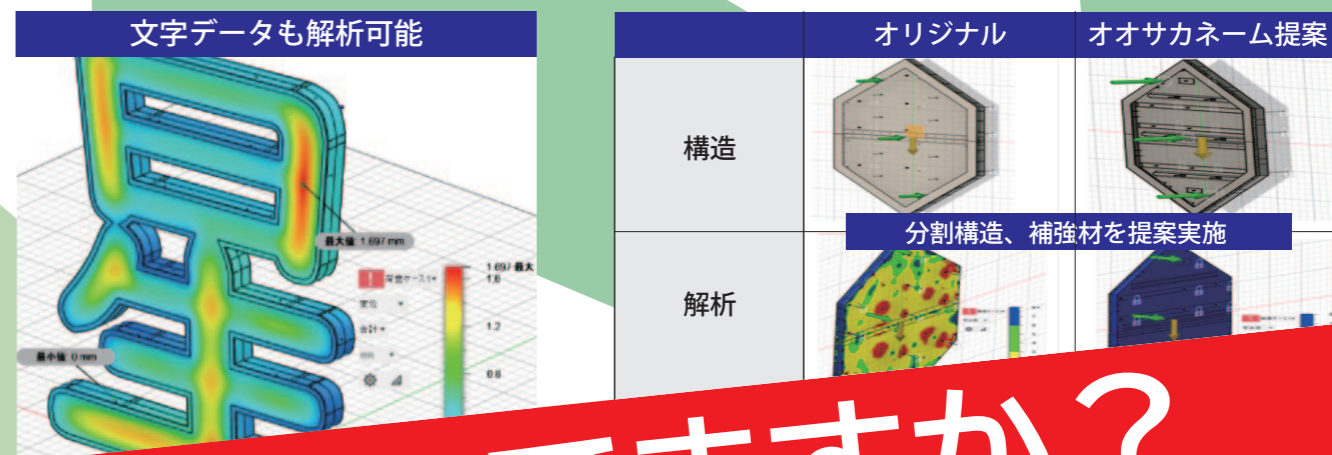
CAE とは、製品の設計・製造をコンピューターによりシミュレーション解析することで、試作品などを作ることなく性能評価や安全率を導き出すもの。当然、計算上の数値だけでは設置環境が一つひとつ異なる看板に対応し切れません。構造解析に広く用いられる FEM 解析に、

当社が長年培ってきた現場のモノづくりのノウハウを詰め込み、精度を上げて数値化しています。

現在の具体的な運用方法としては、サイズの大きい注文があった際、取付場所や仕様の安全性が特に危惧されるものについて、解析を実行します。それで出された結果を元に、お客様と相談し、補強材を追加するなどの対応を行います。

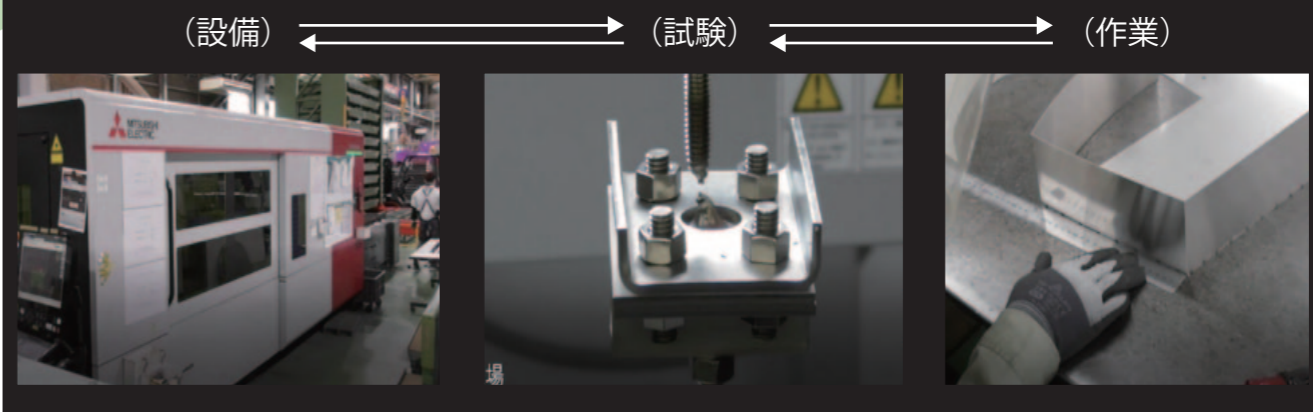
この事業は、お客様からの相談を元に発足したものです。難しい案件で仕様上の不安があるとき、お客様にとって、当社にとっての安全な看板づくりに役立てていきます。ゆくゆくは、「オオサカネームに頼めばすべて安全」とブランディングできれば素晴らしいですね！

—構造の提案事例—



解析結果報告書を提出

最新設備、公的試験機関との連携、手順を守ったモノづくりが解析精度の確からしさを裏付けます。



詳細はオオサカネーム公式サイトへ
<https://www.osakaname.co.jp/introduction.html#01>



代表取締役社長
井手 隆二氏



【営業品目】
金属製箱文字、切文字、腐蝕看板、樹脂文字、各種内照看板の製作
【主な設備】
レーザー加工機、タレットパンチプレス、NCルーターほか

設立 / 1959年8月
 資本金 / 3000万円
 代表 / 井手隆二
 従業員 / 158人
 本社所在地 / 〒811-2232 福岡県糟屋郡志免町別府西1丁目1-8
 TEL.092-518-1131 (いいサイン) FAX.092-518-1132
 東京支店 / 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2丁目48-4 平和MKビル7F
 TEL.03-5643-5521 FAX.03-3662-3633
 大阪営業所 / 〒561-0881 大阪府豊中市中桜塚2-20-12 田中ビル403号
 TEL.06-4967-1131 (いいサイン) FAX.06-4967-1132